



申5号「水戸統括センター新設に伴う体制等について」団体交渉開催！ その②

4.3つのユニットを設置する目的や人数規模を示すこと。また、各ユニットに組合員・社員を配置する際には、本人希望を尊重すること。

確認事項 管理者とのコミュニケーションで本人希望を把握していく。

組合：3つのユニットを設置する目的を明らかにすること。

会社：水戸統括センターでは所属する社員一人ひとりが役割を意識し、企画業務を推進していく体制を構築するため、3つのユニットを設置する。なお、業務運営については箇所長が決定することとなる。

組合：いわき・原ノ町統括センター時も同様に実施してきた。どのように実施したのか明らかにすること。

会社：各職場で実施していた委員会活動を母体とし、ユニットを受け皿とした。活動を行いながら社員の意見は把握している。

組合：ユニット制の指揮命令系統を明らかにすること。

会社：所長がトップで、各ユニットにリーダーが1名ずついる。副長からアドバイスをを行う。

組合：ユニット制の配置について考え方を示すこと。

会社：ダイヤ改正時、水戸運輸区社員は全員鉄道事業ユニットに所属する。水戸営業統括センター社員は現在所属しているユニットを踏襲するが、4月1日で一部入れ替えが発生する。

組合：ユニット制の配置について、委員会活動に所属していない組合員・社員もいることから、本人希望を尊重すること。

会社：本人の希望はコミュニケーションで把握する。本人の適正や成長を鑑みながら配置する考えである。

5.増収と運賃ほ脱対策のため、水戸統括センター総体で、特別改札や無人駅での精算業務を行うこと。

確認事項 水戸統括センター発足後、中編成ワンマン運転区間において特別改札を検討する。

組合：水戸営業統括センターと水戸運輸区で実施した特別改札の実績を明らかにすること。

会社：花火大会やイベント対応で、無人駅での特別改札を実施した。また、水戸運輸区がマイプロ活動の一環で、水戸線において特別改札を実施した。

組合：ワンマン運転拡大や無人駅増加のため、運賃収受が出来ない場合がある。運賃ほ脱対策の考えを示すこと。

会社：お客さまは目的地まで購入している認識である。ポスター掲示等でSuicaの利用を案内を行っている。

組合：今年度申2号で玉戸駅や小田林駅の集札箱の調査を議論した。調査結果を示すこと。

会社：9割程度が目的地までの購入であった。硬貨が投入されていたり、定期券併用もあるため、残り1割について一概に正しく購入していないとは言えない。

組合：不正乗車を行う旅客は集札箱には乗車券類を投入しない。今後の運賃ほ脱対策をどのように考えているのか示すこと。

会社：水戸統括センターを1つの契機として、常磐線や水戸線で特別改札を検討していく。

組合：不正乗車によりモチベーション低下を訴える組合員・社員がいる。無人駅における定点での特別改札を不定期に実施すること。

会社：様々な意見集約を行い、検討していく。

その③へ続く